

企画展

川喜田半泥子の

やきもの

入門

—茶陶のいろは—

2022

4/23 SAT

→ 7/3 SUN

みこ
見込み
って？

うわぐすり
釉
って？

かたみがあり
片身替
って？



片身替茶碗 銘 寝物語
川喜田半泥子作 煎蔵

たたみつき
畳付
って？

こうだい
高合
って？



輪轆を挽く半泥子

開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)

休館日／毎週月曜日[但し祝日の場合は翌日]

入館料／一般500円[400円]・学生300円(高校生以上)

※[]内は20名様以上の団体料金

主催：公益財団法人石水博物館 特別協力：株式会社とせ 半泥子廣永窯

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市番水3032番地18
【TEL】 059-227-5677 【FAX】 059-213-5789
<https://www.sekisui-museum.or.jp/>



企画展 川喜田半泥子のやきもの入門 —茶陶のいろは—

石水博物館は、当財団の創設者であり、趣味の陶芸家としても知られる川喜田半泥子(1878~1963)の作品を多数所蔵しています。また、伊勢の豪商川喜田家に伝来した茶道具も、当館コレクションの大きな柱のひとつです。

当館では半泥子の作品を常設展示していますが、「やきもの」の素材や技法などに関する用語や、茶道具の部位や様式を表す名称には特有のものが多く、解説も難解になりがちです。

本展では、作品への理解をより深めていただくため、半泥子の作品と当館所蔵の古陶磁を題材に、茶陶を中心とするやきものいろは(基礎知識)をわかりやすく紹介します。



半泥子のフェイバリット
古伊賀水指 銘 鬼の首
桃山時代(三重県指定文化財)

山割れって？
ビードロ袖って？



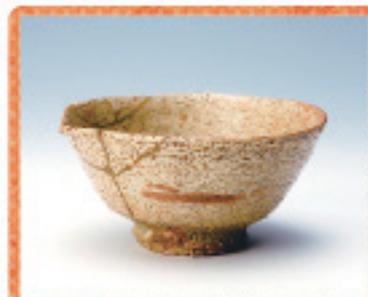
桃山陶の新新デザイン
高麗印茶碗 銘 智
桃山時代

織部って？
杓形って？



茶人が選ったひな形がお手本
御本茶碗
朝鮮王朝時代

「ゴホンが出た」って？



茶道具のサステナビリティ
井戸手茶碗 銘 ひばり
川喜田半泥子作

梅花皮って？
金継ぎって？



飼っていた鳥がモチーフ
赤絵香合 銘 仏法僧
川喜田半泥子作

香合って？
緑なのに赤絵？



半泥子の友・人間国宝の作
備前茶入
金重陶庵作

焼縮って？
肩衝って？

※すべて前展

関連企画 半泥子の手紙を読みましょう!! II

筆まめだった半泥子の手紙(くずし字の原文)を、
学芸員による講座形式で読み解きます。

開催日時: 5月25日(水)、6月15日(水)、6月29日(水)の各日14時~15時

場所: 石水博物館 多目的室

参加方法: お電話にてお申込みください(☎:059-227-5677)。各回定員は10名様(先着順)。
テキストとなる手紙は回によって異なります(HPまたはお電話にてご確認ください)。

参加費: 無料(当日の入館料が必要です)

ギャラリートーク 廣永真の作陶家さんと担当学芸員が展示室にて展覧会をご案内します。

日時: 4月30日(土)、5月8日(日)、6月2日(木)

各日14~15時 ※約30分のギャラリートークのあと、ご希望のお客様には陶土に触れていただけます。

※参加費: 無料(当日の入館料が必要です)

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、チラシの掲載内容に変更が生じる場合があります。当館ホームページまたは電話にて、最新の情報をご確認ください。

※ご来館の際は、感染症予防対策にご協力ください。

次回展覧会

館蔵名品展《扇の美》

会期: 令和4年7月9日(土)~9月4日(日)

展示替休館 7月4日(月)~8日(金)



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿瀬駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方
【津市新から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ、JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の横い道(角に看板あり)を左折、約300m先立寄。(駐車場 15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

[TEL] 059-227-5677 [FAX] 059-213-5789

<https://www.sekisui-museum.or.jp/>

企画展

川喜田半泥子のやきもの入門—茶陶のいろは—

令和4年4月23日（土）～7月3日（日）

出品目録

第1展示室

I. 素材と技法				
番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	二代真清水蔵六書簡	自筆（川喜田半泥子宛）	紙本墨書（墨画）・昭和8年頃	
2	千歳山荘初窯火入図屏風	二代真清水蔵六筆	紙本墨画淡彩・昭和8年（1933）	
3	窯道具	半泥子・坪島土平使用	木製	廣永窯蔵
4	蹴轆轤・手轆轤	半泥子・坪島土平使用	木製	廣永窯蔵
5	釉	廣永窯使用		廣永窯蔵
6	旧呉須	半泥子使用		
7	染付鉢	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
8	赤絵千歳山荘図鉢	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	個人蔵
9	果物鉢図	川喜田半泥子筆・自賛	絹本着色・昭和23年（1948）	
10	窯の記録 （『泥仏堂秘録』ほか）	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和10～20年代	
参考	『本朝陶器攷證』六卷六冊	金森得水著	紙本木版・明治27年（1894）刊	
II. 茶碗のいろは				
番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	井戸茶碗 銘 紅葉山		朝鮮王朝時代（16世紀）	
2	井戸脇茶碗		朝鮮王朝時代（16世紀）	
3	蕎麦茶碗 銘 春紅		朝鮮王朝時代（16世紀）	
4	御本茶碗		朝鮮王朝時代（17世紀）	
5	古萩茶碗 銘 荷葉		江戸時代前期	
6	赤楽茶碗 銘 松韻	伝本阿弥光悦作	江戸時代前期	
7	黒楽茶碗 銘 むらくも	道入作	江戸時代前期	
8	黒織部茶碗 銘 暫		桃山時代	
9	織部黒茶碗 銘 浮巢		桃山時代	
10	大樋茶碗 銘 盆地		江戸時代前期	
11	書「雪月花」	三千家元筆	紙本墨書・昭和17年（1942）	
12	赤楽茶碗	久田宗全作	江戸時代中期	
13	黒筒茶碗	平沢九朗作	江戸時代後期	
14	井戸手茶碗 銘 雨後夕陽	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年（1941）頃	
15	井戸手茶碗 銘 はしら暦	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
16	焼締茶碗 銘 さび柿	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
17	書「無茶」	川喜田半泥子筆	紙本墨書（淡彩）・昭和30年（1955）	
18	御所丸風茶碗	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和13年（1938）	
19	高麗手茶碗 銘 雅茶子	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
20	粉引茶碗 銘 雪の曙	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
21	刷毛目茶碗 銘 青海波	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和30年（1955）頃	
22	信楽手茶碗	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和7年（1932）	
23	黒茶碗 銘 三保の夜	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
24	書「苦茶」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和30年（1955）頃	藤田コ
25	黒織部茶碗 銘 富貴	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年（1940）頃	個人蔵
26	織部黒茶碗 銘 暗香	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
27	志野茶碗 銘 あつ氷	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
28	鼠志野茶碗 銘 一トめぐり	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
29	絵唐津茶碗	川喜田半泥子作	佐賀県唐津市／御茶盃窯・昭和11年（1936）	藤田コ
30	書「壺中日月長」	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和30年（1955）頃	
31	唐津手茶碗 銘 薄氷	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年（1941）	
32	砥部茶碗 銘 白芙蓉	川喜田半泥子作	愛媛県砥部の窯・昭和28年（1953）	個人蔵

第2展示室

Ⅲ. 茶陶あれこれ				
番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	瀬戸芋子茶入		桃山時代	
2	赤楽瓢形茶入	一入（四代樂吉左衛門）作	江戸時代前期	
3	備前茶入	金重陶陽作	昭和10年代	
4	粉引手茶入 銘 伊勢みやげ	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	藤田コ
5	黒釉茶入 銘 俄雨	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
6	胴×手茶入 銘 まろにえ	川喜田半泥子作	岐阜県可児市／大萱牟田洞窯・昭和17年（1942）頃	
7	常識茶会之図	川喜田半泥子筆	紙本墨画・昭和15年（1940）頃	藤田コ
8	黄瀬戸薄茶器	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
9	唐津手薄茶器	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
10	織部手鉢		江戸時代前期	
11	金銀尾花絵蓋物	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和25年（1950）	
12	黄瀬戸牡丹絵鉢	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和11年（1936）	
13	黒茶碗図（一日清閑一日福）	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画（墨書）・昭和20年代	
14	黒楽茄子形振出	旦入（十代樂吉左衛門）作	江戸時代後期	

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
15	志野振出	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
16	粉引手振出	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
17	赤楽一閑人蓋置	左入（六代樂吉左衛門）作	江戸時代中期	
18	黒楽赤楽竹形蓋置 二口	旦入（十代樂吉左衛門）作	江戸時代後期	
19	射和萬古寿老人香合		江戸時代後期	
20	呉須有馬筆香合	青木木米作	江戸時代後期	
21	染付玉章香合	永楽保全作	江戸時代後期	
22	黒楽金溜ふくら雀香合	了入（九代樂吉左衛門）作	江戸時代後期	
23	赤玉香合	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	個人蔵
24	四方梅絵香合 銘 早春	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
25	赤絵香合 銘 仏法僧	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	藤田コ
26	雪月花	川喜田半泥子筆	紙本墨画（淡彩）・ 昭和28年（1953）	個人蔵
27	染付呼継火入 二口	了入（九代樂吉左衛門）作	江戸時代後期	
28	信楽灰器	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和13年（1938）	
29	赤絵紅葉絵水指	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
30	志野彼岸花絵水指	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
31	乾山製陶場真景図	川喜田半泥子筆	紙本墨画・昭和17年（1942）頃	
32	灰釉縮れ水指	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和23年（1948）	個人蔵
33	伊賀水指 銘 慾袋	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年（1940）	
34	古瀬戸水指		桃山時代	
35	瀬戸水指	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	藤田コ
36	古伊賀水指 銘 鬼の首		桃山時代	県指定
37	古伊賀瓢形水指		桃山時代	
38	古備前火襷水指		桃山時代	
39	古備前種壺水指	蓋：川喜田半泥子作	桃山時代	
40	朝鮮唐津水指	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	☆
41	旅枕花入	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	☆
42	焼締火消し壺	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和23年（1948）	☆

IV. 半泥子茶碗の多様性

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	呼継茶碗 銘 いざよい	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
2	呼継茶碗 銘 ねこなんちゅ	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
3	陶片図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画・昭和20年代	個人蔵
4	井戸手茶碗 銘 ひばり	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年（1941）	
5	黒筒茶碗 銘 すず虫	川喜田半泥子作	昭和10～20年代	個人蔵
6	片身替茶碗 銘 寝物語	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
7	井戸手茶碗 銘 おぼろ	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和24年（1949）頃	

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
8	鯉のぼり図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	新収蔵 5/29まで 展示
9	傘図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	5/31から 展示
10	灰釉茶碗 銘 これはしたり	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	個人蔵
11	焼締茶碗 銘 猿のしり	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
12	志野茶碗 銘 蛾眉峯	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和13年（1938）頃	個人蔵
13	志野茶碗 銘 不動	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
14	伊勢の海図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和10年代	
15	志野茶碗 銘 おらが秋	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
16	粉引茶碗 銘 たつた川	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
17	黒茶碗 銘 無茶太郎	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年（1940）頃	
18	赤楽大茶碗 銘 閑く恋慕	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
19	千歳山と半泥子図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画・昭和34年（1959）	藤田コ
20	白掛茶碗 銘 天の川	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
21	刷毛目茶碗 銘 土用波	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
22	虎図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・ 昭和32年（1957）頃	☆ 新収蔵

※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。

※備考欄の「藤田コ」は、藤田等風コレクション（平成23年寄贈）。

※備考欄に☆印を付した作品は、茶席「山里」内に展示。